

医学部専門予備校 クエスト 解答速報

昭和大学（医）英語

試験日 2月2日（金）



〈全体講評〉 難易度的には従来の昭和大の問題よりも少し難しいと感じた受験生がいたのではないと思われる。特にⅠは少し語彙の面でレベルが上がったようである。英作文がなくなりはしたが、60分で仕上げるには骨の折れる試験であろう。

- Ⅰ (1) C (2) D (3) B (4) C (5) C
 (6) A (7) C (8) D (9) D (10) D
 (11) C (12) B (13) D (14) C (15) B

Ⅱ 1. $D \rightarrow F \rightarrow C \rightarrow G \rightarrow E$

2. (Ⅰ) D (Ⅱ) D (Ⅲ) B

3. (a) D (b) A (c) B (d) B

3. (I) B (II) B (III) C

2. (ア) to (イ) in (ウ) with (エ) in

(オ) that

3. プラセボが効果的であるためには、(患者に)隠すことの重要性について、かつて科学者たちが信じていたあらゆることに基いて考えたならば、これらの正直に告げられたプラセボの錠剤は、痛みや疲労感、頭痛、他の症状を減らすはずがないのだ。ところがかなり多くの症例において、減らしているのだ。

4. Still, the unexpected effect ^② has ^④ many medical
experts interested

5. fluctuate を正答として選ぶ (attribute A to + ㊸ でこの切は不定詞は不可だ) 但し、mood は原則可算名詞なので、厳密に言うところの部分も間違いと言えよう。一応出題者の意図を汲んでおこう。

6. 患者が偽薬を与えられているのだということが知らされないままに
いること。

7. オープンラベルのプラセボ試験といって、従来の偽薬について知らせないのではなく、明確に患者には、治療効果を示すような成分は入っていないことを知らせて行うもので、最初の2日間で、鎮痛剤を飲む前に偽薬を飲ませ、脳に偽薬と痛み止めを関連づけさせることを行ってから、3日目に偽薬のみを与え、その効果を確かめるという方法。